

議題（2）地域枠医師赴任先候補の優先順位及び絞り込みについて

1 地域枠の設置状況

本県における地域枠制度は、平成 19 年度に国がまとめた「緊急医師確保対策」に基づき開始をしたもので、全て時限的な医学部の定員増と連動している。平成 21 年度の名古屋大学及び名古屋市立大学での設置を皮切りに、27 年度時点で県内 4 大学全てに、計 25 の枠が設けられている。28 年度には、さらに 7 枠増員し、32 枠となる予定である。

[大学別内訳]

大学名	27 年度 枠数	28 年度 増員予定
名古屋大学	5 枠	
名古屋市立大学	7 枠	
愛知医科大学	8 枠	2 枠
藤田保健衛生大学	5 枠	5 枠
計	25 枠	7 枠

[実施期間等]

- ① 平成 21 年度定員増：21 年度～29 年度の 9 年間（名大 3 枠、名市大 2 枠）
- ② 平成 22 年度定員増：22 年度～31 年度の 10 年間（名大 2 枠、名市大 3 枠）
- ③ 平成 24 年度定員増：24 年度～31 年度の 8 年間（愛知医大 5 枠）
- ④ 平成 27 年度定員増：27 年度～31 年度の 5 年間（名市大 2 枠、愛知医大 3 枠、藤田保大 5 枠）
- ⑤ 平成 28 年度定員増（予定）：28 年度～31 年度の 4 年間（愛知医大 2 枠、藤田保大 5 枠）

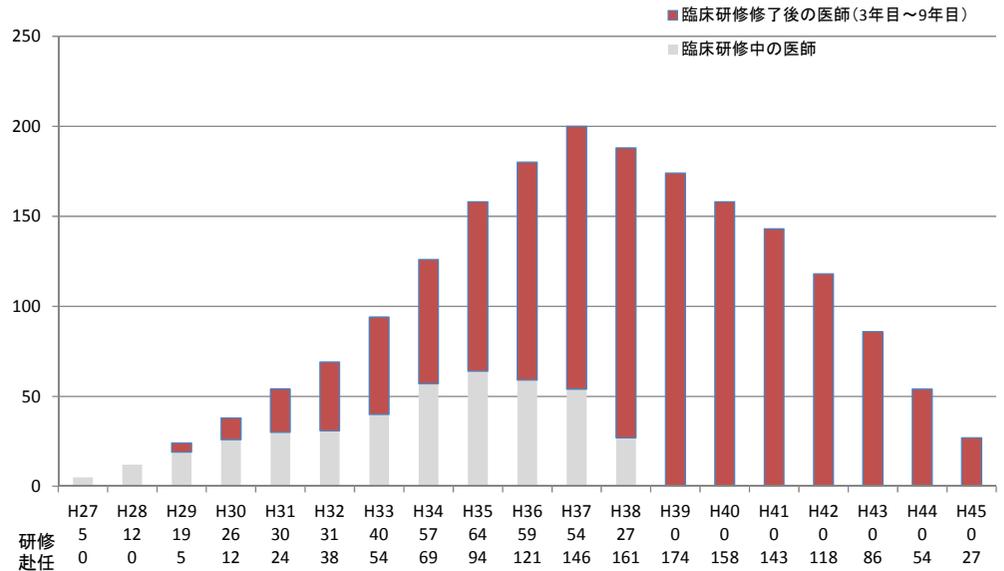
2 平成 28 年 4 月 1 日時点における地域枠医師（学生）の状況

入学年度	人数	名大	名市大	愛知医大	藤田保大	学年等
21 年度	5 人	3 人	2 人			臨床研修 2 年目
22 年度	7 人	4 人	3 人			臨床研修 1 年目
	2 人		2 人			6 年生
23 年度	10 人	5 人	5 人			6 年生
24 年度	14 人	5 人	5 人	4 人		5 年生
	1 人			1 人		4 年生
25 年度	15 人	5 人	5 人	5 人		4 年生
26 年度	15 人	5 人	5 人	5 人		3 年生
27 年度	25 人	5 人	7 人	8 人	5 人	2 年生
28 年度	32 人	5 人	7 人	10 人	10 人	1 年生
計	126 人	37 人	41 人	33 人	15 人	

※22 年度入学者のうち 1 名は退学、22 年度入学者のうち 2 名及び 24 年度入学者のうち 1 名は留年あり

3 地域枠医師の赴任推移見込み（条件：臨床研修修了後、専門医（後期）研修を経ず、地域へ赴任すると仮定）

○地域枠医師年度別赴任予定数



○定員増種別ごとの養成数

- ・平成 21 年度定員増分：5 枠 × 9 年間 【計 45 人】
- ・平成 22 年度定員増分：5 枠 × 10 年間 【計 50 人】
- ・平成 24 年度定員増分：5 枠 × 8 年間 【計 40 人】
- ・平成 27 年度定員増分：10 枠 × 5 年間 【計 50 人】
- ・平成 28 年度定員増分：7 枠 × 4 年間 【計 28 人】

【総養成数 212 人】

(参考) 地域枠制度概要

①対象者

各大学への地域枠入学者（県はその者へ修学資金を貸与）

②修学資金貸与額

入学年次 年額 2,100,000 円

その他年次 年額 1,800,000 円（在学 6 年間貸与総額 11,100,000 円）

[その他、産科・小児科を志望する 5、6 年生に対する年額 600,000 円の加算金あり]

③返還免除要件

県知事の指定する、医師の確保が困難な地域の公的医療機関等において、貸与期間の 1.5 倍の期間（9 年間：県内での臨床研修及び専門医（後期）研修期間のうち 2 年間を含む）、診療業務に従事すること。

赴任先調整等に係るこれまでの決定事項

1 義務年限中の枠組み

		期 間	対 象 医 療 機 関
義 務 内	臨床研修	2年	県内臨床研修病院
	専門医（後期）研修	2年以内	県内の公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内の医療機関、県内の大学病院
	赴任先での勤務	5年以上	県内の公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内の医療機関のうち県が指定する医療機関（複数の医療機関に勤務）
計		9年	
義 務 外	義務年限にあてはまらない 研修・研究等の期間	3年以内	指定なし

2 赴任先の対象となる医療機関

県内の公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内の医療機関から、対象先を選定する。なお、特殊性の高い病院を除く。

（赴任先対象の選定の原則）

- 原則として、内科系・外科系・麻酔科の医師数の合計が40人以下であり、医師不足により救急医療の疲弊している医療機関とする。
- 小児科については、小児救急医療を充実させるため、小児科医（常勤）が1人以上5人以下の医療機関とする。
- 産婦人科については、分娩に十分対応できる体制を構築するため、産婦人科医（常勤）2人以上5人以下の医療機関とする。

3 推奨すべき診療科

地域枠医師に望む診療科は下記のとおりとする。

- 内科系（内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科）
- 外科系（外科、消化器外科、整形外科）
- 救急科
- 小児科
- 麻酔科
- 産婦人科

小児科・産婦人科の診療に従事する意思を有する医学生については貸与額の加算あり。（現時点で1名が制度利用）

4 赴任先の決定手順

(1) 赴任先となる病院の選定

- ① 病院の状況調査 県
 - 赴任先の対象となりうる医療機関に対して、受入希望、医師不足の状況・救急体制等に関する現況調査を行う。
 - 調査をもとに、内科・外科等並び小児科、産婦人科の診療科ごとに順位付けし、その案を有識者会議に提示する。
- ② 赴任先となる病院の選定 有識者会議
 - 県が提示したものを参考にし、有識者会議にて赴任先病院の絞り込み（赴任推奨病院）を行う。
- ③ 診療科別のキャリアパスの作成 赴任先病院
 - 地域枠医師向けに、赴任先病院が関連大学の診療科等と相談の上、診療科別のキャリアパスを作成する。

(2) 個々が赴任する先の調整

- ① 地域枠医師への意向確認 各大学
 - 来年度の進路選択（専攻する診療科・希望する赴任先病院等）に関する意向を確認する。
※ 意向確認は、各大学に設置された地域枠医師のための指導・相談窓口が実施する。
- ② 個々の赴任先案の作成 各大学
 - 地域枠医師の意向を踏まえ、個々の赴任先案を作成する。
※ 赴任先案の作成について、専攻する診療科が決まっている場合は、診療科が赴任推奨病院を選定し、専攻する診療科が決まっていない場合は、「地域枠医師指導・相談窓口」が赴任推奨病院を選定する。
- ③ 大学間調整 医師派遣に係る大学間協議会
 - 大学間で相互的に合意を踏むため、各大学から提示された赴任先の案を「大学間協議会」にて調整する。
※ 大学間調整は、主に他大学の関連病院を赴任先とされた案の調整を行う。

(3) 各地域枠医師の赴任先の決定 県

- 最終調整のもと、県が各地域枠医師の赴任先を決定する。

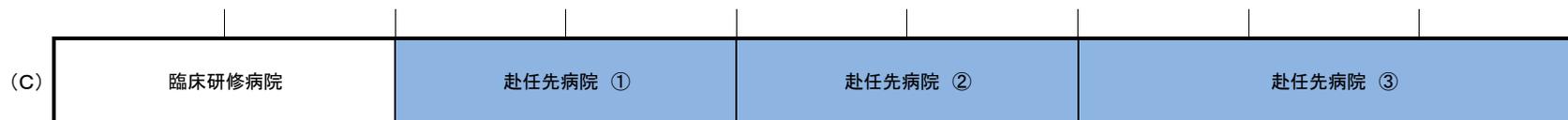
○地域枠医師の義務年限中モデルキャリアパス(基本例)



●キャリアアップのための専門医(後期)研修を臨床研修に引き続き設定することにより、診療能力に厚みを持たせた上で医師が不足する地域の医療に貢献する。



●早い時期から医師が不足する地域の病院で幅広い診療能力を身につけると同時に、医師が不足する地域の医療に貢献する。



●早い時期から医師が不足する地域の病院で幅広い診療能力を身につけ、専門医(後期)研修を挟まず、引き続き医師が不足する地域の医療に貢献する(9年で義務終了。)

(再掲)

■ 臨床研修病院 県内臨床研修病院【一覧表①】

■ 専門医(後期)研修病院 県内の公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内の医療機関、県内の大学病院【一覧表②】

■ 赴任先病院 県内の公的医療機関及び独立行政法人が開設する県内の医療機関のうち、知事がそれぞれ指定する医療機関【一覧表③】

□ 推奨診療科 ○内科系(内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科)

○外科系(外科、消化器外科、整形外科)

○救急科・麻酔科

○小児科

○産婦人科

(○総合診療科)

【一覧表①】臨床研修期間

○臨床研修病院(56病院)

	区分	病院名
1	市	名古屋市立東部医療センター
2	市	名古屋市立西部医療センター
3	医法	医療法人愛生会総合上飯田第一病院
4	健保	名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院
5	日赤	名古屋第一赤十字病院
6	会社	名古屋セントラル病院
7	国	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
8	共済	国家公務員共済組合連合会名城病院
9	国	名古屋大学医学部附属病院
10	日赤	名古屋第二赤十字病院
11	他法	社会福祉法人聖霊会聖霊病院
12	市	名古屋市立大学病院
13	他法	みなと医療生活協同組合協立総合病院
14	一社	名古屋掖済会病院
15	学法	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
16	国	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院
17	国	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
18	医法	社会医療法人宏潤会大同病院
19	他法	南医療生活協同組合総合病院南生協病院
20	医法	社会医療法人名古屋記念財団名古屋記念病院
21	市	津島市民病院
22	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
23	市	公立陶生病院
24	国	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院
25	学法	藤田保健衛生大学病院
26	学法	愛知医科大学病院
27	市	一宮市立市民病院
28	医法	総合大雄会病院
29	医法	医療法人尾張健友会千秋病院
30	医法	社会医療法人杏嶺会一宮西病院
31	市	稲沢市民病院
32	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院
33	市	春日井市民病院
34	医法	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
35	市	小牧市民病院
36	医法	医療法人社団志聖会犬山中央病院
37	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
38	市	半田市立半田病院
39	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院
40	市	常滑市民病院
41	国	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
42	市	公立西知多総合病院
43	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院
44	会社	トヨタ記念病院
45	市	岡崎市民病院
46	市	碧南市民病院
47	医法	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
48	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院
49	医法	社会医療法人財団新和会八千代病院
50	市	西尾市民病院
51	国	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
52	市	豊橋市民病院
53	医法	医療法人明陽会成田記念病院
54	市	豊川市民病院
55	市	蒲郡市民病院
56	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院

※ 網掛けは公的医療機関、独立行政法人立医療機関、大学病院以外の病院

【一覧表②】専門医(後期)研修期間

○公的医療機関、独立行政法人立医療機関、大学病院(55病院)

	区分	病院名
1	県	愛知県立城山病院
2	県	愛知県がんセンター中央病院
3	市	名古屋市立東部医療センター
4	市	名古屋市立西部医療センター
5	済生会	愛知県済生会リハビリテーション病院
6	済生会	愛知県青い鳥医療福祉センター
7	日赤	名古屋第一赤十字病院
8	国	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
9	日赤	名古屋第二赤十字病院
10	市	名古屋市総合リハビリテーションセンター付属病院
11	国	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院
12	国	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
13	国	独立行政法人国立病院機構東尾張病院
14	市	名古屋市立緑市民病院
15	国	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院
16	市	名古屋市厚生院
17	市	津島市民病院
18	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
19	市	あま市民病院
20	市	公立陶生病院
21	国	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院
22	市	一宮市立市民病院
23	市	一宮市立木曾川市民病院
24	市	稲沢市民病院
25	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院
26	県	愛知県心身障害者コロニー中央病院
27	市	春日井市民病院
28	市	小牧市民病院
29	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
30	市	半田市立半田病院
31	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院
32	市	常滑市民病院
33	市	公立西知多総合病院
34	国	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
35	県	あいち小児保健医療総合センター
36	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院
37	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院
38	市	みよし市民病院
39	県	愛知県がんセンター愛知病院
40	市	岡崎市民病院
41	市	碧南市民病院
42	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院
43	市	西尾市民病院
44	市	新城市民病院
45	町	東栄町国民健康保険東栄病院
46	国	国立病院機構豊橋医療センター
47	市	豊橋市民病院
48	市	豊川市民病院
49	市	蒲郡市民病院
50	厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院
51	国	名古屋大学医学部附属病院
52	市	名古屋市立大学病院
53	学法	藤田保健衛生大学病院
54	学法	愛知医科大学病院

本リストにある病院が基幹施設となって実施するプログラムが対象

※ 網掛けは臨床研修病院以外の病院

【一覧表③】赴任先病院

○全ての公的医療機関、独立行政法人立医療機関(51病院)

区分	病院名	特殊性の高い病院	病床数		医師数(常勤)		救急施設指定		周産期施設指定	
			H27.4現在(基本)	H27.6現在	うち後期研修医	3次	2次	総合	地域	
1 県	愛知県立城山病院	○	342	14						
2 県	愛知県がんセンター中央病院	○	500	130	47					
3 市	名古屋市立東部医療センター		498	106	20		○			
4 市	名古屋市立西部医療センター		500	117	18		○			○
5 済生会	愛知県済生会リハビリテーション病院	○	199	7	0					
6 済生会	愛知県青い鳥医療福祉センター	○	170	8						
7 日赤	名古屋第一赤十字病院		839	247	55	○			○	
8 国	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター		740	188	37	○				
9 日赤	名古屋第二赤十字病院		812	230	47	○			○	
10 市	名古屋市立大学病院	○	808	303	59	○				
11 市	名古屋市総合リハビリテーションセンター付属病院	○	80	12						
12 国	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院		621	135	14		○			
13 国	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院		663	154	36	○				
14 国	独立行政法人国立病院機構東尾張病院	○	233	12						
15 市	名古屋市立緑市民病院	○	300	19	0		○			
16 国	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院		519	38	0		○			
17 国	名古屋市厚生院	○	204	12						
18 市	津島市民病院		440	66	7		○			
19 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院		553	131	28	○				○
20 市	あま市民病院		199	14	0					
21 市	公立陶生病院		701	146	44	○				○
22 国	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院		250	42	1		○			
23 市	一宮市立市民病院		584	128	20	○				○
24 市	一宮市立木曾川市民病院		138	7	0		○			
25 市	稲沢市民病院		320	37	1		○			
26 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院		300	36	3		○			
27 県	愛知県心身障害者コロニー中央病院	○	355	24	0					
28 市	春日井市民病院		562	111	7		○			
29 市	小牧市民病院		558	147	33	○				○
30 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院		684	117	41		○			○
31 市	半田市立半田病院		499	94	10	○				○
32 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院		259	30	0		○			
33 市	常滑市民病院		267	34	1		○			
34 市	公立西知多総合病院		468	72	2		○			
35 国	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	○	383	68	3					
36 県	あいち小児保健医療総合センター	○	200	85	26					
37 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院		606	130	25	○				
38 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院		190	13	0		○			
39 市	みよし市民病院		122	15	0		○			
40 県	愛知県がんセンター愛知病院		276	39	3		○			
41 市	岡崎市民病院		700	147	33	○				○
42 市	碧南市民病院		320	50	0		○			
43 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院		749	178	52	○		○		
44 市	西尾市民病院		400	45	6		○			
45 市	新城市民病院		201	23	2		○			
46 町	東栄町国民健康保険東栄病院		40	6	0		○			
47 国	国立病院機構豊橋医療センター		388	32	0		○			
48 市	豊橋市民病院		820	184	49	○		○		
49 市	豊川市民病院		558	100	19		○			
50 市	蒲郡市民病院		382	42	7		○			
51 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院		316	32	0		○			

○赴任先候補となり得る病院(39病院)

区分	病院名
1 市	名古屋市立東部医療センター
2 市	名古屋市立西部医療センター
3 日赤	名古屋第一赤十字病院
4 国	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
5 日赤	名古屋第二赤十字病院
6 国	独立行政法人労働者健康福祉機構中部労災病院
7 国	独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
8 国	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院
9 市	津島市民病院
10 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
11 市	あま市民病院
12 市	公立陶生病院
13 国	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院
14 市	一宮市立市民病院
15 市	一宮市立木曾川市民病院
16 市	稲沢市民病院
17 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院
18 市	春日井市民病院
19 市	小牧市民病院
20 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
21 市	半田市立半田病院
22 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院
23 市	常滑市民病院
24 市	公立西知多総合病院
25 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院
26 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院
27 市	みよし市民病院
28 県	愛知県がんセンター愛知病院
29 市	岡崎市民病院
30 市	碧南市民病院
31 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院
32 市	西尾市民病院
33 市	新城市民病院
34 町	東栄町国民健康保険東栄病院
35 国	国立病院機構豊橋医療センター
36 市	豊橋市民病院
37 市	豊川市民病院
38 市	蒲郡市民病院
39 厚生連	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院

※特殊性の高い病院を削除
(12病院)

赴任先調整に係る年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～
赴任対象者	◇進路に係る意向表明 ・専攻する診療科 ・希望する地域 ・希望する病院 など	大学により聴取 (県同席または報告)		◇赴任先候補病院 リストの受領	本人意向を踏まえながら、 大学が各赴任先案を策定		◇赴任先内示書を 受領 ◇本人が直接面接等を受検
県事務局	◇病院への調査実施 ・受入れ希望 ・医師数の状況 ・救急等実施状況 など		◇調査結果とりまとめ ◇赴任先候補病院 リスト(案)の策定	伝達			◇各赴任先を内定
地域医療支援センター 運営委員会 (地域幹部会含む)			◇赴任先候補病院 リストの確定			◇各赴任先案により 最終マッチング調整	報告

※ 赴任対象者とは、臨床研修2年目、後期研修3年目(最終年度)、1か所めの赴任医療機関2年目(最終年度)の地域枠医師を指す。

赴任先対象病院の優先順位づけについて

1、地域枠医師赴任候補病院に対する調査項目案

- ① 各診療科（「内科」・「外科」・「麻酔科」・「救急科」・「小児科」・「産婦人科」・「その他の科」）に従事する常勤医師数
- ② 各診療科（「内科」・「外科」・「整形外科」・「小児科」・「その他の科」）の年間緊急入院延患者数
- ③ 各診療科（「内科」・「外科」・「整形外科」・「小児科」・「救急科」・「その他の科」）の年間救急搬送受入延患者数
- ④ 年間分娩取扱件数（「正常分娩件数」・「帝王切開術件数」）
- ⑤ 地域枠医師の受入れ希望診療科（優先順位を付記）

2、内科系、外科系、麻酔科、救急科の優先順位について

- 1) 候補医療機関：各年4月1日の時点において、内科系、外科系、麻酔科、救急科（以下「内科・外科系等」）に診療科の常勤医師数の合計が40名以下である病院

2) 優先順位のつけ方

算出式： $\frac{A+B}{C}$ の値が高い順とする。なお、Dの値は参考情報とする。

- A：小児科及び産科以外の診療科（以下「内科等」）の救急搬送延患者数
（診療時間内及び平日夜間・休日等の診療時間外（以下「診療時間外」）に救急搬送され、内科等の診療科で受け入れた延患者数）
- B：内科等の診療科の緊急入院延患者数
（診療時間内及び診療時間外において、救急搬送された患者以外で内科等に外来受診後に即入院となった延患者数）
- C：各年4月1日の時点の内科・外科系等の診療科常勤医師合計数
- D：年間の、無医地区等巡回診療件数＋継続的な医師派遣も含むへき地診療所等への代診医等の派遣件数

⇒平成27年7月に本県が実施した各病院医療対応状況調査等の数値を使用し、平成28年4月1日より赴任を開始する者が存在するとして、次のとおり優先順位算出のシミュレーションを行った。

3) ①シミュレーション結果

医療圏	病院名	A	B	C	D
名古屋	(国) 東名古屋病院				
海部	あま市民病院				
尾張東部	旭労災病院				
尾張西部	木曾川市民病院				
	稲沢市民病院				
	厚生連稲沢厚生病院				
知多半島	厚生連知多厚生病院				

医療圏	病院名	A	B	C	D
知多半島	常滑市民病院				
西三河北部	厚生連足助病院				
	みよし市民病院				
西三河南部東	愛知県がんセンター愛知病院				
西三河南部西	西尾市民病院				
	碧南市民病院				
東三河北部	新城市民病院				
	東栄病院				
東三河南部	(国) 豊橋医療センター				
	蒲郡市民病院				
	厚生連渥美病院				

②優先順位算出 ((A+B) / C) 結果

優先順位	病院名	C (内科・外科系等医師数)	(A+B) / C	(所在医療圏)
1	厚生連知多厚生病院			知多半島
2	(国) 豊橋医療センター			東三河南部
3	厚生連渥美病院			東三河南部
4	碧南市民病院			西三河南部西
5	蒲郡市民病院			東三河南部
6	西尾市民病院			西三河南部西
7	常滑市民病院			知多半島
8	稲沢市民病院			尾張西部
9	新城市民病院			東三河北部
10	旭労災病院			尾張東部
11	厚生連稲沢厚生病院			尾張西部
12	あま市民病院			海部
13	厚生連足助病院			西三河北部
14	東栄病院			東三河北部
15	みよし市民病院			西三河北部
16	愛知県がんセンター愛知病院			西三河南部東
17	(国) 東名古屋病院			名古屋
18	一宮市立木曾川市民病院			尾張西部

※ゴシック体は、「へき地医療拠点病院」

都道府県知事は、「無医地区」及び「無医地区に準じる地区」を対象として、へき地医療支援機構の指導・調整の下に巡回診療、へき地診療所等への医師派遣、へき地診療所の医師等の休暇時等における代替医師等の派遣等の事業を実施した、又は実施できると認められる病院を「へき地医療拠点病院」として指定できる。

3、小児科の優先順位について

1) 候補医療機関：各年4月1日の時点において、小児科の常勤医師が1名以上5名以下である病院

2) 優先順位の点数のつけ方

算出式：(A+B) / C

A：年間小児科救急搬送延患者数

(診療時間内及び診療時間外に救急搬送され、小児科で受け入れた延患者数)

B：年間小児科緊急入院延患者数

(診療時間内及び平日夜間・休日等の診療時間外において、**救急搬送された患者以外**で小児科に外来受診後に即入院となった延患者数)

C：各年4月1日の時点の小児科常勤医師数

3) ①シミュレーション結果

医療圏	病院名	A	B	C
名古屋	(国) 東名古屋病院			
	名古屋市立東部医療センター			
	中部労災病院			
海部	津島市民病院			
	あま市民病院			
尾張東部	旭労災病院			
尾張西部	厚生連稲沢厚生病院			
知多半島	公立西知多総合病院			
	市立半田病院			
	厚生連知多厚生病院			
	常滑市民病院			
西三河北部	みよし市民病院			
西三河南部西	西尾市民病院			
	碧南市民病院			
東三河北部	新城市民病院			
東三河南部	(国) 豊橋医療センター			
	蒲郡市民病院			
	厚生連渥美病院			

②優先順位算出結果

優先順位	病院名	C(医師数)	(A+B) / C	(所在医療圏)
1	市立半田病院			知多半島
2	中部労災病院			名古屋
3	津島市民病院			海部
4	常滑市民病院			知多半島
5	碧南市民病院			西三河南部西
6	名古屋市立東部医療センター			名古屋
7	西尾市民病院			西三河南部西
8	旭労災病院			尾張東部
9	蒲郡市民病院			東三河南部
10	(国) 豊橋医療センター			東三河南部
11	厚生連渥美病院			東三河南部
12	厚生連稲沢厚生病院			尾張西部
13	あま市民病院			海部
14	厚生連知多厚生病院			知多半島
15	新城市民病院			東三河北部
16	(国) 東名古屋病院			名古屋
17	みよし市民病院			西三河北部
18	公立西知多総合病院			知多半島

※ゴシック体は、「へき地医療拠点病院」

都道府県知事は、「無医地区」及び「無医地区に準じる地区」を対象として、へき地医療支援機構の指導・調整の下に巡回診療、へき地診療所等への医師派遣、へき地診療所の医師等の休暇時等における代替医師等の派遣等の事業を実施した、又は実施できると認められる病院を「へき地医療拠点病院」として指定できる。

4、産婦人科の優先順位について

1) 候補医療機関：各年4月1日の時点において、産婦人科の常勤医師が2名以上5名以下である病院

2) 優先順位のつけ方

算出式： $\frac{A+B}{C}$

$$\left(\begin{array}{l} A: \text{年間正常（経膈）分娩件数、} B: \text{年間帝王切開術件数} \\ C: \text{各年4月1日の時点の産婦人科常勤医師数} \end{array} \right)$$

3) ①シミュレーション結果

医療圏	病院名	A	B	C
名古屋	(国)名古屋医療センター			
	名古屋市立東部医療センター			
海部	津島市民病院			
尾張東部	公立陶生病院			
尾張西部	稲沢市民病院			
	厚生連稲沢厚生病院			
西三河北部	厚生連豊田厚生病院			
西三河南部西	碧南市民病院			
	豊川市民病院			
東三河南部	蒲郡市民病院			
	厚生連渥美病院			

②優先順位算出結果

優先順位	病院名	C(医師数)	(A+B)/C	(医療圏)
1	蒲郡市民病院			東三河南部
2	豊川市民病院			東三河南部
3	碧南市民病院			西三河南部西
4	津島市民病院			海部
5	公立陶生病院			尾張東部
6	厚生連渥美病院			東三河南部
7	名古屋市立東部医療センター			名古屋
8	厚生連豊田厚生病院			西三河北部
9	厚生連稲沢厚生病院			尾張西部
10	(国)名古屋医療センター			名古屋
11	稲沢市民病院			尾張西部

[赴任先対象病院の絞り込み]

以下の点を当面（平成29年度以降3年以内に赴任を開始する者）の基準としたい。

- ・最新の統計数値を用いて医療圏ごとの10万人対医師数を算出し、当該数値が全国平均を下回る圏域に所在する病院を赴任先対象とする。

(参考) 現時点での試算結果

医療圏	人口	医師数	10万人当たり医師数
名古屋	2,276,590人	7,008人	307.8人
海部	329,323人	449人	136.3人
尾張中部	164,943人	135人	81.8人
尾張東部	470,060人	1,798人	382.5人
尾張西部	515,725人	902人	174.9人
尾張北部	731,801人	1,148人	156.9人
知多半島	621,462人	871人	140.2人
西三河北部	481,559人	722人	149.9人
西三河南部東	415,499人	574人	138.1人
西三河南部西	683,033人	1,021人	149.5人
東三河北部	57,081人	75人	131.4人
東三河南部	697,437人	1,224人	175.5人
県全体	7,444,513人	15,927人	213.9人

全国	127,082,819人	311,205人	244.9人
----	--------------	----------	--------

○カテゴリーごと赴任先候補病院(絞り込み実施後)

内科系・外科系・救急科・麻酔科	
1	厚生連知多厚生病院
2	(国)豊橋医療センター
3	厚生連渥美病院
4	碧南市民病院
5	蒲郡市民病院
6	西尾市民病院
7	常滑市民病院
8	稲沢市民病院
9	新城市民病院
10	厚生連稲沢厚生病院
11	あま市民病院
12	厚生連足助病院
13	東栄病院
14	みよし市民病院
15	愛知県がんセンター愛知病院
16	一宮市立木曾川市民病院

小児科	
1	半田市立半田病院
2	津島市民病院
3	常滑市民病院
4	碧南市民病院
5	西尾市民病院
6	蒲郡市民病院
7	(国)豊橋医療センター
8	厚生連渥美病院
9	厚生連稲沢厚生病院
10	あま市民病院
11	厚生連知多厚生病院
12	新城市民病院
13	みよし市民病院
14	公立西知多総合病院

産婦人科	
1	蒲郡市民病院
2	豊川市民病院
3	碧南市民病院
4	津島市民病院
5	厚生連渥美病院
6	厚生連豊田厚生病院
7	厚生連稲沢厚生病院
8	稲沢市民病院

※網掛けの病院はへき地医療拠点病院